

## AIに使われる？ AIを使いこなす？

### なぜ、ICT機器を使いこなす力が必要なの？



スマートフォンをはじめ AI（人工知能）・ビッグデータ・IoT（Internet of Things）など、日常生活の様々な場面で ICT（情報通信技術）を使うことが当たり前となってきた現代。これからの社会を生き抜かなければならない子ども達は、主体的に情報を選択し活用するための「情報活用能力」を身に付けることが重要となっています。

## 曾於市の学校における GIGA スクールタブレットを使った授業の紹介

### ◎ タブレットを文房具のように使う力を養う

タブレットを使った授業では、これまでに学んだ内容を瞬時に表示したり、友達の考えを全体で瞬時に共有・比較したりすることで、学んだ知識の確認や思考の幅を広げることができます。委員会活動で端末を使いこなしている子ども達もいます。今どきの子ども達って、すごい!!



### ◎ リモート学習



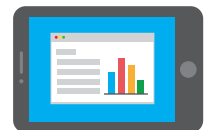
遠く離れている場所にいる友達とも瞬時につながることができるタブレット。その特長を利用して市内の学校同士で授業を行いました。また光神小では海外の方とも交流しました。



### ◎ 学習アプリ【ドリルパーク】

曾於市の GIGA スクールタブレットには、AI 搭載型の学習ドリルを搭載しています。得意な子どもにはより高いレベルの問題を、苦手な子どもには少しずつ力が付くような問題を AI が判断して問題を提示します。この学習ドリルによって小・中学生の誰もが小学校 1 年生から中学校 3 年生までの学習にいつでも取り組むことができ、学力定着にも効果があります。

曾於市ではタブレットの持ち帰りをすすめています。学力定着のために家庭学習としても活用してみませんか。



## 家庭におけるタブレットを使った取り組みの紹介

### ◎ 家庭との連携

曾於市内の学校ではすべての保護者に情報が確実に伝わるように、学校からの連絡を端末で見られるようにしていたり、出欠連絡を端末で行うことで教員・保護者の負担を軽減したりしている学校も増えてきました。こうした学校・保護者の双方向での情報共有により、子どもをとりまくすべての大人が「そおぐるみ」で子どもを見守ることができます。

また子ども達が持っているタブレットには、情報モラルを学ぶことができるアプリも入っています。この冬休みに親子で情報モラルについて学んでみませんか？



## 12月4日から10日までは「人権週間」です

いじめやインターネット上の人権侵害、感染症や障がいなどを理由とする偏見や差別など、私たちの身の回りには様々な人権問題があります。人権問題を「わがこと」として捉え、相手の気持ちを考えられるような思いやりあふれる曾於市でありたいですね。